

町づくりに行政調査レポート 活かします

厚生産建常任委員会 広島県

11/14～11/16

- せら 世羅町「町役場」・「世羅高校」
- あき おおた 安芸太田町「町役場」
- たけはら 竹原市「アヲハタ本社」

総務文教常任委員会 石川県

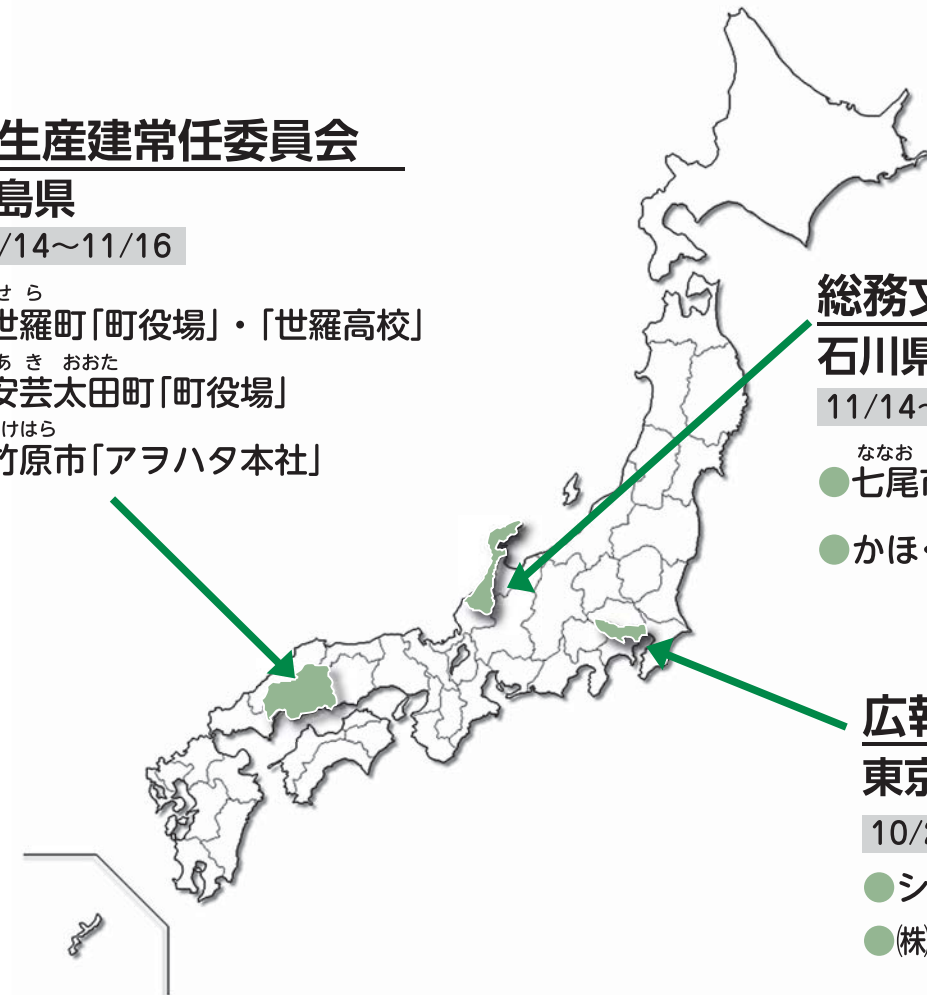
11/14～11/16

- ななお 七尾市「市役所」
- かほく市「市役所」

広報常任委員会 東京都

10/25～10/26

- シェーンバッハ「サボー」
- 株きかんし



全国ランキング

七尾市	チャレンジしたい若者におすすめの田舎部門	第1位
	高齢者が住みよい街	第1位
	出産子育てしやすい街	第5位
かほく市	働く世代住みよい街	第4位
	住みよさランキング	第7位

石川県七尾市及びかほく市へ行政調査に行ってきました。両市とも合併で市となり、当町と比較して人口・予算規模とも数倍の差はあるものの、取り組んでいる内容は見習うものがたくさんありました。

手厚い助成で定住促進

総務文教常任委員会

両市とも、高齢者・子育て世代・若者も含めて、定住・子育て・医療・保育等に対する助成制度が充実しています。また、いろいろな施策・情報発信等で、若手職員や子育て世代・専門家・区長・地区民等を巻き込んで、人力・知識・知恵・アイディアを出し合い、住みよい町づくりをしています。



ランキングに納得！

当町も行政まかせでなく、町民全員の力を集結して町づくりをしていく必要があると再認識しました。

【記 大山】

高齢化率48%に学ぶ

厚生産建常任委員会

中国山地は全国でも先鋭的に過疎化が進んでいました。

この度、広島県世羅町、安芸太田町を訪ね、その取り組みについての苦労話を話し合い、10年20年後の大石田町を考えると、決死の覚悟が必要であると感じました。世羅町は、6次産業化に力を入れており、

1+2+3+6という足し算ではなく、

1×2×3+6とする掛け算で捉えていました。

1次産業がゼロならば答えはゼロにしかならない。

農業や水産業などを最重要なものとしています。

安芸太田町は、維持継続が困難な集落の生活を支援し、「この土地を守りたい」「集落で生まれ、

逝きたい」の願いを支えていました。

合理的、コンパクト化

の思考とは正反対で金も時間もかかる活動をしていました。しかし25軒中21軒空き家、6世帯8人、高齢化率100%という

那須集落。たった8人のための取り組みは人間性を強く感じる一つの実験

に思えました。中国山地安芸太田町の那須集落は

桃源郷かもしれない。

また、大石田町に働く

場をつくり人口減少の歯止めに貢献しているアヲハタの本社（竹原市）を

訪ね、ボランティア活動支援への取り組みについて実態を伺いました。企業

の社会に対する責任を強く感じる活動でした。

【記 小玉】



充実した6次産業商品「世羅夢公園」



6次産業に取り組む「世羅高校」

読まれて、伝わる広報とは！

広報常任委員会

我々の評価は？

事あるごとに、全国最優秀賞を取るのが目標と言ってきましたが、最新の編集テクニクはどうか、評価の高い部分は何か、また改善すべき点は何かを中心にスキルアップすべく勉強してきました。

また「クロスメディア総合宣伝センター（株）きかんし」ではプロのみなさんの目から見た指導をいただきました。そのなかで、我々のレベルは非常に高いとお褒めをいただいたのはとてもうれしい事でした。左に（株）きかんし黒川氏から頂いたメールを抜粋します。

こうした研修を今後の紙面に活かしていきます。

【記 村形】

大石田町議会の広報委員会の皆様が大変熱心に広報紙制作に努力されていることをひしひしと感じました。こちらの説明一つひとつに真剣に耳を傾けている姿は、私たちもあまり経験のないものでした。町民の皆様読んでいただける広報紙をいかにつくるかを研究されていることに、私たちが励まされました。

（株）きかんし取締役黒川



（株）きかんし社内「大型印刷機」を見て



全国の議会だよりで学ぶ